

KANEKA Wellness Center

No. 12-079-2023作成
新築
病院・その他

発注者	株式会社カネカ	カテゴリー				
設計・監理	大成建設株式会社級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB	
施工	大成建設株式会社	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

森に溶け込む大地の屋根

Wellness + Net-ZEB

某企業の診療所兼厚生施設。健康経営の理念の実現を目指し、社員に対する「健康支援」と「診療機能」を併せ持つ施設として計画した。敷地は工業所に隣接する雑木林。人が立入る事の無い荒れた土地であった雑木林を、地域植生の森として再生しながら、森に溶け込む建築を実現している。米国IWBIによるWELL認証最高ランクプラチナの取得※、瓦一体型PVやシースルーPV、木造二重通気構法を取り入れ、Net-ZEBを実現。人と環境にやさしい建築を目指した。

地域植生の森の再生

敷地の雑木林を3Dスキャンを用いて樹木の位置関係を測定、また樹種や健康状態を確認し、侵略性外来種や不健康な状態の樹木を伐採、地域植生の樹木を保全した。



建設前の雑木林



配置図

○：保全した樹木



保全した既存の樹木に溶け込む



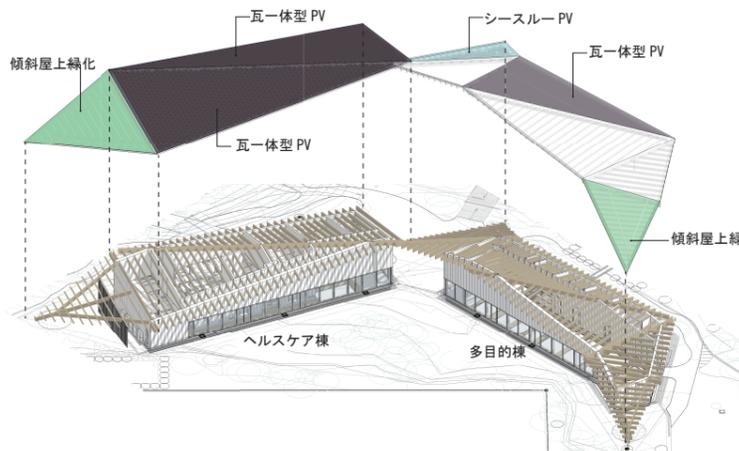
既存の樹木を活かした建築



木造多面体屋根が内部に現れる空間

環境技術が組み込まれた木造多面体屋根

既存樹木を避ける為、屋根を多面体構造で構成し、建物形状や高さを敷地に応じて柔軟に変化させた。多面体屋根の面ごとに瓦一体型PV、シースルーPV、緑化屋根を統合している。



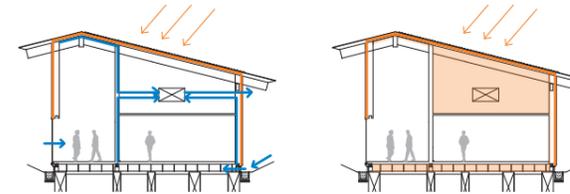
シースルーPV(ガラス屋根)が掛かるエントランス



勾配屋根に馴染む瓦一体型PV

季節に応じた熱負荷低減を行う外断熱二重通気構法

一般的な木造の通気構法に加え、外気温に応じて通気ルートを選択する木造外断熱二重通気構法を採用、建物への熱負荷を最小限に抑えた。



地面と繋がる緑化屋根

建物データ	省エネルギー性能		
所在地	兵庫県高砂市	多目的棟	
竣工年	2022年	BPI	
敷地面積	5,666㎡	BEI	
延床面積	625㎡	ヘルスケア棟	
構造	木造(一部S造)	BPI	
階数	地上1階	BEI	
			※ () 内は発電を除いたBEI値

設計担当者

統括：平井浩之／建築：平井浩之、岡崎啓祐／構造：西本信哉、坂口裕美、安田佳世／設備：湯浅孝、安藤直也
木谷宇／デザイン監修：隈研吾建築都市事務所

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (3Dスキャンを用いた既存樹木の測量と保全)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (多面体構造の採用による既存樹木との干渉回避と、敷地に溶け込む建物形状)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (屋根緑化による敷地の森との調和)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (外断熱二重通気構法による熱負荷抑制)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (屋根と調和する瓦一体型PV、シースルーPV)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮 (全面的な木材の使用によるCO₂削減)